

## 基本方針

- ・現行戦略の基本的な枠組みを維持しつつ、後期2か年で重点的に取り組む施策の方向性を明示
- ・個別分野では、それぞれの現状や課題を踏まえた対応を図る一方、取組効果をさらに高めていくため、施策推進における共通の考え方や、特に注力する重点取組方針を提示
- ・この重点取組方針の下、多様なステークホルダーとの連携を広げ、人・モノ・投資・情報の流れを兵庫に呼び込む取組を強力に推進

## 共通基盤

### ■ Growth Driver

#### □ SDGs

- ・SDGsは持続可能な社会実現に向けた世界の共通目標。私たち一人ひとりが考え、行動を起こし、活動を広げることができる共通の理念として社会に浸透
- ・特にZ世代をはじめ若い世代はSDGsネイティブとも呼ばれ高い関心
- ・SDGsを経営指針に取り入れる企業も増加し、企業価値や企業業績の向上、人材確保にもプラスの効果
- ・持続可能な地域づくりに向け、SDGsを共通基盤の一つに設定

#### □ 公民連携

- ・社会課題の複雑化・高度化が進む中、公共領域を担う主体は民間にも拡大し、多様な主体のポテンシャルを活かし合う公民連携が一層重要に
- ・企業にとっても、社会貢献に加え、企業価値の向上や人材確保にプラスの効果
- ・プラットフォームを展開し、より多くのステークホルダーとのパートナーシップを推進

#### □ DX

- ・コロナ禍により社会のデジタル化が加速し、働き、学び、暮らす場の物理的な距離が縮小
- ・自動運転やドローン、スマート農業、遠隔医療・教育など、様々なデジタル技術による新たなサービスが地域課題を解決
- ・デジタル技術の社会実装により、地域の活性化と課題解決に向けた取組を推進

## 重点取組の3つの柱

### ■ Frontier

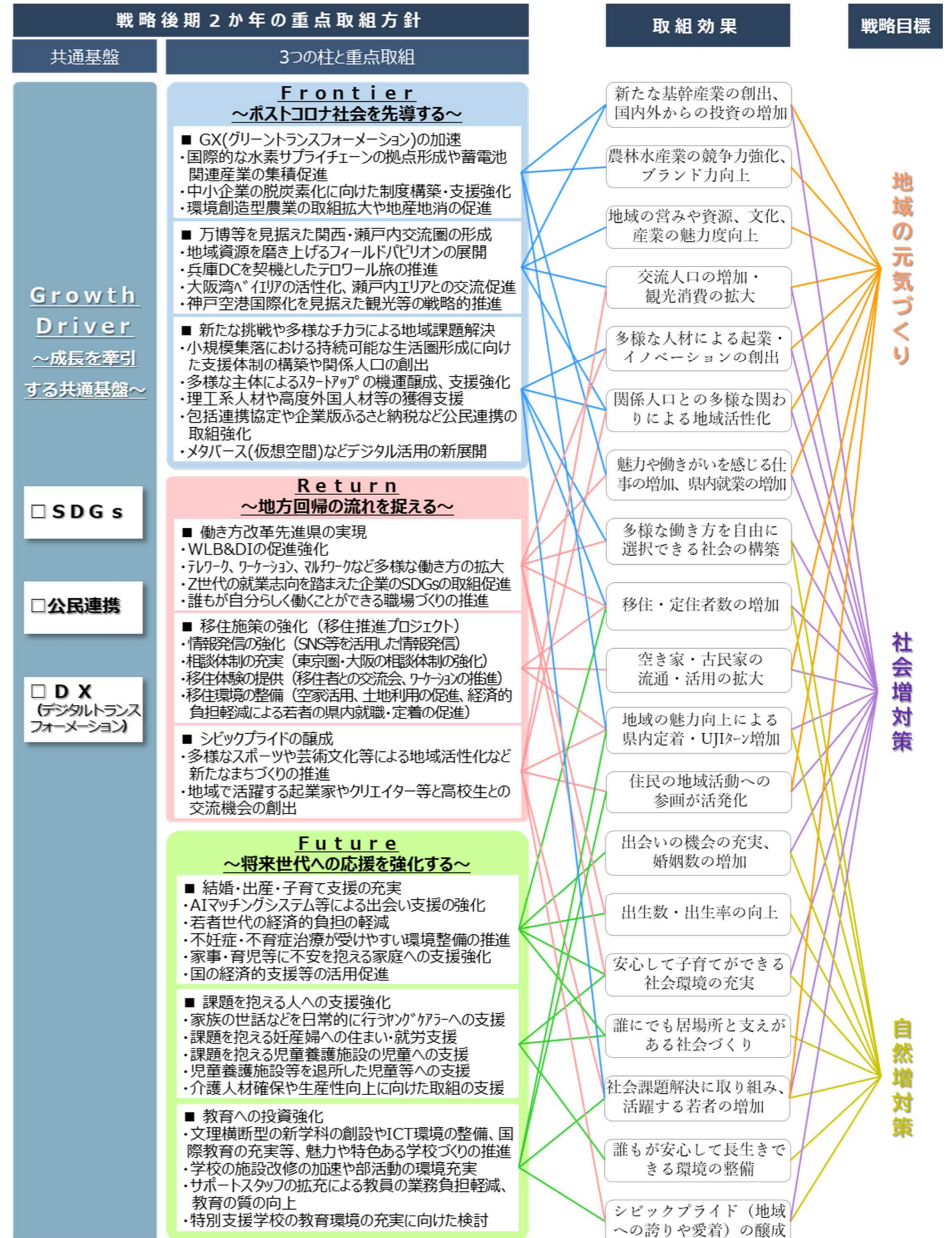
- ・地球環境保全、脱炭素、GXは、SDGs全てのゴールの土台。特に兵庫県は水素・カーボンニュートラル分野で高いポテンシャル
- ・2025年の大阪・関西万博や瀬戸内国際芸術祭を契機として、関西と瀬戸内をつなぎ、兵庫が要に位置する大交流圏の形成を目指す
- ・地域課題の解決に取り組む企業、スタートアップなど多様な主体が地域の活力を創出
- ・こうした社会潮流を踏まえた様々なチャレンジにより、兵庫の持続可能な発展を実現

### ■ Return

- ・コロナ禍は、場所や時間の制約を受けない新たな社会への変化を加速
- ・本県でも都市からの移住や起業、企業移転など、新しい働き方・暮らし方が拡大傾向
- ・仕事と生活の調和、多自然地域等への移住促進、まちのにぎわいや魅力づくりなどを進め、地方回帰の流れを確かなものとする

### ■ Future

- ・コロナ禍による出会い・結婚・出産へのマイナスの影響が懸念。また、課題を抱える人への支援や学びの環境充実も急務
- ・県民が安心して望む生き方を選択できる、子どもたちが将来への希望を持って活躍できる社会づくりに向け、結婚、出産、子育てなど望むライフコースの実現、特別な課題を抱える子どもや妊産婦への支援、教育への投資強化など、兵庫の未来を担う世代への支援を強力に進める



## 2. 戦略後期2か年の重点取組

### Frontier ～ポストコロナ社会を先導する～

#### □ GX(グリーントランスフォーメーション)の加速

カーボンニュートラル実現のための取組を持続的な成長・発展の契機と捉え、本県のポテンシャルを活かしたGXの取組を、様々な産業分野で官民を挙げて展開

- ・ 国際的な水素サプライチェーンの拠点形成や蓄電池関連産業の集積促進
- ・ 中小企業の脱炭素化の支援強化（SDGs認証制度の創設、温室効果ガス排出量の算定支援、太陽光発電設備の導入支援等）
- ・ 脱炭素化に向けた制度の構築・普及（Jクレジット制度への参画促進、ブルーカーボンクレジット制度の構築検討、カーボンフットプリントの普及促進検討等）
- ・ 環境創造型農業の取組拡大や地産地消の促進、スマート農業の推進、県産木材の活用拡大

#### □ 2025 大阪・関西万博等を見据えた関西・瀬戸内交流圏の形成

2025年の大阪・関西万博と瀬戸内国際芸術祭の同時開催を踏まえ、関西エリアと瀬戸内エリアを結ぶ大交流圏の形成に向け、様々な主体と連携した取組を推進

- ・ 地域資源を磨き上げる「ひょうごフィールドパビリオン」の展開（万博来場者の誘客、万博後の継承・発展）
- ・ 兵庫でステーションキャンペーンを契機とした兵庫モデル旅の推進
- ・ 大阪湾ベイエリアの活性化（スポーツ・大型クルーズの寄港誘致による海上観光圏の形成、海上交通の充実、空飛ぶクルマの商用運航に向けた取組等）
- ・ 瀬戸内エリアとの交流促進（瀬戸内国際芸術祭と連携した芸術文化イベントの実施、広域周遊観光ルートの開発、海上交通の充実等）
- ・ 神戸空港の国際化を見据えた観光やビジネスの戦略的推進（海外富裕層向け旅行商品の造成、観光関連産業の集積、県内の高規格道路の整備等）

#### □ 新たな挑戦や多様なチカラによる地域課題解決

持続可能な生活圏形成に向け、市町と連携して小規模集落の活力創出に取り組むとともに、社会起業家など様々なプレイヤーによる地域課題解決の取組を促進

- ・ 小規模集落における持続可能な生活圏形成に向けた、県・市町の重層的な支援体制の構築や、企業・大学等との連携による関係人口の創出
- ・ スタートアップ支援の強化（地域課題解決型のスタートアップ育成、スタートアップと県内既存企業のオープンイノベーション推進等）
- ・ ドローンや空飛ぶクルマなど次世代モビリティの活用推進
- ・ 県内の基幹産業やスタートアップを支える理工系人材の育成・獲得支援
- ・ 高度外国人材や留学生等の受入促進、受入体制の整備
- ・ 包括連携協定や企業版ふるさと納税など公民連携の取組強化
- ・ メタバース(仮想空間)などデジタル活用の新展開
- ・ 中高生からのアントレプレナー教育の充実

### Return ～地方回帰の流れを捉える～

#### □ 働き方改革先進県の実現

流出の大きい若者を惹きつけるため、若者の企業選択にも影響を与える企業のSDGsに対する取組を促進。柔軟に働くための環境整備や多様な人材が活躍できる職場づくり等を推進

- ・ ワークライフバランスやダイバーシティ&インクルージョン(人材の多様性を認めて活かす)の促進強化
- ・ テレワーク、ワーケーション、マルチワークなど多様な働き方の拡大
- ・ Z世代の就業志向を踏まえた企業のSDGsの取組促進
- ・ 誰もが自分らしく働くことができる職場づくりの推進(「わたし」からアクション宣言等)

#### □ 移住施策の強化

多自然地域に豊かな暮らし・働き方を求める地方回帰の流れを確かなものとするため、移住推進プロジェクトとして、移住に至る段階(①知る②探す③試す④決める)に応じた対策を体系的に推進

- ・ 情報発信の強化(SNS等を活用した情報発信、ターゲット層への直接的なPR等)
- ・ 相談体制の充実(東京圏・大阪での移住相談体制の強化、移住イベントの実施)
- ・ 移住体験の提供(移住者との交流会の実施、ワーケーションの推進等)
- ・ 移住環境の整備(空家活用特区の活用等による移住受入れ環境の充実、古民家再生の担い手育成や文化的価値の継承、市街化調整区域における土地利用の規制緩和、奨学金返済支援等による県内企業への就職促進、情報通信基盤の強化等によるビジネス環境の充実等)

#### □ シビックプライドの醸成

地元定着やリターン者の増加を図るため、2025年大阪・関西万博を契機とした地域の魅力の磨き上げや、スポーツ・文化の振興、地域で活躍する大人との交流などを通して地域への誇りや愛着を醸成

- ・ 地域に根ざした産業・文化・営みにSDGsの視点から光を当て、魅力を高めるフィールドパビリオンの展開(再掲)
- ・ 兵庫のポテンシャルを活かした多様なスポーツや芸術文化等による地域活性化など、新たなまちづくりの推進
- ・ 地域で活躍する起業家やクリエイター等と高校生との交流機会の創出

### Future ～将来世代への応援を強化する～

#### □ 結婚・出産・子育て支援の充実

幅広い出会いの機会の提供や、不妊等への精神面・経済面の負担軽減、子育てに優しい地域づくりなど、結婚・出産・子育ての希望を叶える取組を展開

- ・ AIを活用したマッチングシステムや市町・民間事業者との連携など、出会い支援の強化
- ・ 奨学金返済支援等による若者世代の経済的負担の軽減(再掲)
- ・ 不妊症・不育症治療が受けやすい環境整備の推進
- ・ 家事・育児等に不安を抱える子育て家庭への支援強化
- ・ こども家庭庁の創設も踏まえ、国の出産や子育て、経済的負担軽減に係る各種施策の活用の促進(出産準備金、出産育児一時金、出世払い型奨学金等)

#### □ 課題を抱える人への支援強化

誰も取り残されない社会の実現に向け、特別な課題を抱える家庭や子どもが、必要な時に必要な支援を滞りなく受けられるよう、国や市町と連携し、きめ細やかな支援制度を構築

- ・ 家事や家族の世話などを日常的に行っているヤングケアラーへの支援
- ・ ふるさと寄付金等も活用した、課題を抱える妊産婦への居場所の提供や住まい・就労支援
- ・ 発達障害や被虐待により課題を抱える児童養護施設の児童への支援
- ・ 児童養護施設等を退所した児童等への支援
- ・ 介護分野における人材確保や生産性向上に向けた取組の支援

#### □ 教育への投資強化

次世代を担う若い世代がそれぞれの能力を発揮し、社会のあらゆる分野において活躍することができるよう、新しい時代のニーズを踏まえた学校づくりや、「生徒ファースト」の視点による学校施設の改善等を加速

- ・ 県立学校における文理横断型の新学科の創設やICT環境の整備など、魅力や特色ある学校づくりの推進
- ・ 公立・私立学校における国際教育の充実
- ・ 県立学校の施設改修の加速や、部活動の環境充実など快適な学校環境の整備
- ・ サポートスタッフの拡充による教員の業務負担軽減、教育の質の向上
- ・ 特別支援学校の教育環境の充実に向けた検討

### 3. 戦略指標

目 標		目 標 値 R2実績 達成率・評価	目 標 値 R3実績 達成率・評価	R4 目 標 値	R5 目 標 値	R6 目 標 値
【戦略目標Ⅰ】 地域の元気づくり 《ひと・まち・産業 元気プログラム》	1 県民一人あたり 県内総生産 (GDP)の伸び	〔国〕 実質：99.8 名目：105.5	〔国〕 実質：102.5 名目：107.3	国を上回る 伸びの維持	国を上回る 伸びの維持	国を上回る 伸びの維持
		〔県〕 実質：103.1 名目：108.3	〔県〕 実質：106.8 名目：109.3			
		—・A	—・A			
	2 住んでいる地域 にこれからも住 み続けたいと思 う人の割合	前年度を上回る (R1:77.9%)	前年度を上回る	前年度を上回る	前年度を上回る	前年度を上回る
		75.9%	75.9%			
		97.3%・B	99.9%・B			
【戦略目標Ⅱ】 社会増対策 《社会減ゼロプログラム》	3 日本人の 転入超過数	▲4,449人	▲2,669人	▲1,068人	▲214人	0人
		▲7,268人	▲6,879人			
		—・D	—・D			
	4 20歳代前半の 若者定着率 93.0%を目指す	92.2%	92.4%	92.6%	92.8%	93.0%
		91.5%	91.5%			
		99.2%・B	99.0%・B			
	5 外国人の増加数 (累計)	5,000人	10,000人	15,000人	20,000人	25,000人
		2,413人	3,246人			
		48.3%・D	32.5%・D			
【戦略目標Ⅲ】 自然増対策 (子ども・子育て対策) 《婚姻数拡大プログラム》	6 合計特殊出生率	1.41	1.41	1.41	1.41	1.41
		1.39	1.36			
		98.6%・B	96.5%・B			
	7 婚姻件数	25,000件	25,500件	26,000件	26,500件	27,000件
		21,964件	20,938件			
		87.9%・C	82.1%・C			
【戦略目標Ⅳ】 自然増対策 (健康長寿対策) 《健康寿命延伸プログラム》	8 平均寿命と 健康寿命の差	—	—	—	—	男性1.40未満 女性3.13未満
		男性1.43 女性3.16	(R5年度中)			
		—	—			
	9 運動を継続して いる人の割合	73.0%	75.0%	64.4%	65.8%	67.2%
		65.5%	63.0%			
89.7%・C		84.0%・C				

※ 指標の評価は、目標値に対する実績値の達成率により実施

A:100%以上、B:90%以上、C:70%以上、D:70%未満

※ 指標実績のうち、該当年度において実績値が未判明のものについては、判明時期を記載